

## 中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法 人 名 等		目標の内容・実績			
【法人名】  公益財団法人いきいき埼玉	目標	NPO・ボランティア相談対応件数	埼玉未来大学卒業生の地域社会活動参加率	シルバー派遣事業に係る就業延人員	施設利用者数
		彩の国市民活動サポートセンターおよび市町サポートセンターにおける市民活動に関する相談対応件数	埼玉未来大学受講生が卒業後1年間に地域社会活動に参加した割合(卒業生を対象とした地域活動調査)	シルバー人材センターに登録する会員が就業した延べ日数	県民活動総合センターにおける貸室・宿泊利用者数及び財団主催の講座・イベント延参加者数の計
		【令和4年度目標】 14,000件	【令和4年度目標】 63.9%	【令和4年度目標】 467,500人日	【令和4年度目標】 419,000人
		【令和5年度目標】 15,500件	【令和5年度目標】 80.0%	【令和5年度目標】 472,500人日	【令和5年度目標】 728,000人
		【令和6年度目標】 17,000件	【令和6年度目標】 80.0%	【令和6年度目標】 477,500人日	【令和6年度目標】 748,000人
【中期経営計画の期間】  令和4年度～令和6年度	各年度の実績	【令和4年度実績】 14,507件	【令和4年度実績】 77.3%	【令和4年度実績】 493,949人日	【令和4年度実績】 451,830人
		【令和5年度実績】 16,658件	【令和5年度実績】 76.5%	【令和5年度実績】 617,760人日	【令和5年度実績】 745,057人
		【令和6年度実績】 14,599件	【令和6年度実績】 78.1%	【令和6年度実績】 783,643人日	【令和6年度実績】 765,290人
法人による自己評価	NPO・ボランティア活動は、アフターコロナで活発さを取り戻しつつあり、複雑化・多様化する相談案件に対し、専門性を有するコーディネーターの設置により対応したほか、会議・研修などにより、職員の相談対応能力の向上に努めている。 相談件数については目標値を下回ったが、引き続き埼玉市民活動サポートセンターネットワークの事務局として研修会の開催等により、市町市民活動サポートセンターを含めた職員の資質向上に努め、寄せられた相談に確実に対応できる体制を整えてまいりたい。	令和5年度は、ライフデザイン科において学習期間を6か月から1年に延長し、カリキュラムに校外学習やフィールドワークなどの「ネットワークづくり」や「体験型学習」を取り入れた。 その結果、目標に達することはできなかったが、R6年度実績は過去最高の参加率となった。	いきいき埼玉(シルバー人材センター連合本部)に就業先企業を拡大するための専属の営業職員を平成29年度から配置している。 また、各シルバー人材センターに、営業用リーフレットや派遣企業リストを提供するなどして、企業の開拓を一体的に行ったことにより、目標を達成することができた。	令和5年度は、財団が主催する鉄道フェアを3年ぶりに復活するなど、法人全体で利用者の獲得に取り組むことで、目標を達成した。 令和6年度においては、検定試験や貸館イベントの誘致のほか、ロケーション撮影を積極的に受け入れるなど、施設の利用促進に努め、目標を達成することができた。 今後は、デジタル広告の配信や、広報誌へのPR活動などを実施し、更なる利用拡大に向けた活動を強化してまいりたい。	